

久里浜天神社社報 てんじんさま

平成26年2月1日発行 第112号
発行所 久里浜天神社社務所
〒239-0831 横須賀市久里浜5-19-1
TEL046-835-3703 Fax 835-3503
ホームページURL tenjinsha.or.jp



HPもご覧ください

二月
如月

本日はよくお参り下さいました

梅の花がほころび、暖かい日中には、春のような陽気を感じることもある今日このごろですが、皆さんいかがお過ごしでしょうか。現在天神社では、受験シーズン真っ最中、毎朝7時30分頃より受験当日合格祈願を行っています。朝の御日供祭(おにつくさい)に併せて行っています。御日供とは日毎神さまにお供えするお食事のことです。日供祭の祝詞には、神さまの日々のご加護に感謝申し上げ、つつがなく一日を過ごすことができますように、氏子崇敬者の皆さんの繁栄発展をお祈りしています。世の安寧を祈る内容の祝詞です。心を落ち着けて祈ることは、慌ただしくすぎる時間の中で、とても大切なことだと思います。情報量も多く、めまぐるしく過ぎていく毎日の中で、周りに流されず、自分らしく生きていくことは、簡単なようで難しいことです。神さまと向き合ったときに、恥ずかしくない自分でいたいものです。今月は節分、初午と、初旬にいくつか行事があります。節分厄除大祭という言葉も聞きますが、厄払いとは節分までに行うのが良いとされています。お払いをお考えの方はお早めにお申込み下さい。今月も皆さんが災禍なくご無事でありますよう心よりお祈り申し上げます。(権禰宜 道子)



鬼は外、福は内♪

3日 節分

四季の節目を指す立春・立夏・立秋・立冬のうち、特に冬(陰)から春(陽)に移り変わる立春が、節気による正月節として重視されたため、一般的には立春の前日を節分と呼んでいます。この日には一年間の無病息災を祈る節分行事が行われます。

4日 初午

2月最初の午の日に、京都の伏見稻荷大社をはじめ、全国各地の稲荷神社などでは初午祭が行われます。初午の日は、和銅四年(711)二月のこの日に稲荷神が初めて三ヶ峰(稲荷山)に降臨されたことにちなむもので、このことが、稲荷神社の総本社である伏見稲荷大社の鎮座の由来ともなっており、全国の神社では特に重要な日として祭事が行われます。初午の行事は、中世からの稲荷信仰の普及とともに、庶民の間で全国的に広まりました。この時期は農事始めともなっているため、その年の五穀豊穡や、豊漁の祈願、また現在では商売繁盛・事業繁栄・家内安全などを願います。

11日 建国記念の日

神武天皇が橿原(かしはら)の宮に即位された日(『日本書紀』)を太陽暦に換算し、建国の日と決めました。明治六年に「紀元節」として祝日となりましたが、戦後は一旦廃止されました。その後多くの国民の声により、昭和41年にあらためて国民の祝日に加えられました。

17日 祈年祭

祈年祭は、「としごいのまつり」とも称し、収穫感謝祭である新嘗祭(にいなめさい)と対になる形で、古くから重要な祭祀とされてきました。毎年、2月17日に五穀豊穡と国家安泰を神々に祈る祭りであり、宮中や伊勢神宮をはじめ、全国各地の神社において行われています。

天神さまの豆知識

世界最古の国「日本」

我が国は、世界で一番長い歴史を持つというご存知ですか?中国黄河(こうが)文明やエジプト文明などは、日本よりも古いと思う人もいるでしょう。日本にはまだ国らしい国がなかった時代です。でも中国やメソポタミアの当時の王朝はすでに滅び、今はもうありません。天皇や王をもつ国を「君主制国家(くんしゅせいこつこく)」といいます。今から百年ほど前には地球上に五十前後の君主国家がありました。でもその数はだんだん減り、現在では日本を含め三十カ国以下になりました。歴史上、数々の王朝が誕生しては消えていきましたが、全ての王朝の中で最も長い歴史を持つのが日本です。たとえば中国の歴史は王朝交代の歴史で、三百年以上持ちこたえた王朝はありません。西暦一九一一年に辛亥革命(しんちやう)最後の皇帝溥儀(ふぎ)が退位してから、中国に王朝はなくなりました。またヨーロッパで一番歴史が古い王朝は英国(イギリス)ですが、初代国王のウィリアム一世が英国を征服したのが西暦一〇六六年なので、英国王室の歴史は九百数十年です。現在の英国女王はエリザベス二世で、第四十一代目にあたります。そして、その英国王室よりも長い歴史をもつのは、世界中で日本の「大和王朝(やまと)おうちやう)」だけです。今から約二千七百年前の紀元前六六〇年、神日本磐余彦(かむやまと)といわれびこのみこと)という人物が大和の地に国を造ったのが日本国の始まりとされています。この人物こそが最初の天皇で、後に「神武天皇(じんむてんのう)」と呼ばれることになりました。神武天皇が国を造ったことは、正史(せいし)「国家によってまとめられた正式な歴史書である『日本書紀』という書物に書かれています。建国から現在まで、天皇は例外なく神武天皇

の子孫によって受け継がれてきました。そして、天皇の位が神武天皇の子孫によってずっと受け継がれてきたことを「万世一系(ばんせいいつけい)」といいます。日本国は建国からずっと、万世一系の天皇が君臨してきたわけです。我が国の歴史には、神武天皇以来、これまで一二四代の天皇がいっしょにいました。そして現在の天皇陛下は、第一二五代でいらっしゃいます。神武天皇が造った国「大和王朝」は後に「日本」と呼ばれるようになりましたが、一度も途切れることなく、同じ国が続いているのです。二千七百年、百二十五代の天皇の歴史は世界に類を見ないものなのです。歴史などを研究している学者の中には「日本の建国はそんなに古くない」とか、「神武天皇は存在しなかった」とか、「途中で王朝が交代している」というような説を主張する人がいます。学者同士が違う意見をいうことはよくあることなので、このような議論があっても不思議ではありません。でも、王朝の歴史が最も短くなる学説を採用して、一番短く計算しても大和王朝は約千五百年の歴史があり、世界最古の王朝であることに変わりはありません。二月十一日は、「建国記念の日」として国民の祝日とされていますが、これは『日本書紀』に書かれたことをもとに決められたことです。また我が国の法律の中で最も大切な法律である「日本国憲法」の第一条は天皇について書かれています。どの国の憲法も一番初めには最も大切なことを書きます。このよ

うな歴史は、日本人として是非知っておきたいところです。参考文献 『皇室のきょうかしよ』 竹田恒泰著

二月十一日 建国記念日

